

Regular report

2024 vol.1

9,10,11



Chiba  
University  
Formula  
Project



# 活動レポート

## 1. 車両設計 機械工学コース 3年 堀田伊吹

9月3日からCF24が始まり、現在は車両設計を中心に活動しています。

昨年度の車両設計の反省として、主に、フレーム・パワートレイン・エアロデバイスの各パート間のやり取りが少なかった事に加え、車両全体のパッケージングを行える担当者が居なかった事が挙げられます。また、目標順位と目標得点を設定してはいたものの、上記の理由から「どのパートでどのような改善を施して、車両全体ではどれ程の目標達成が出来る。」と言った、改善目標を各パートへ落とし込み、その後に車両をまとめ上げる事が行えていませんでした。そこで、今年度からは私がテクニカルマネージャーとなって車両全体の設計を統括し、改善を図っています。

しかしながら、自分が担当しているパート以外の知識量が少なく、加えて2024年度大会は例年と異なる会場での開催となることから予想の付かない部分が多くあります。不慣れな事も多いですが、目標順位達成の為に弛まず努力して参ります。



## 2. JARI カースワップ 機械工学コース 4 年 瀬戸川 隆人

9/17(土)に日本自動車研究所城里テストコースにて行われたカースワップに参加しました。自チームのマシンを客観的に評価してもらえる貴重な機会であり、有意義な一日となりました。異なるチーム同士で評価することにより、活発な議論が生まれチーム間の交流も深まりました。実際に他チームのドライバーによるフィードバックは様々であり、弊チームの可能性も見出せた結果となりました。得られたフィードバックを元に設計指針へと反映し、より良いマシンへ改善できるよう努めていきます。来年度は私が運営側の責任者として合同試走会や講習会等を計画する立場となるため、このような有意義な活動を行えるよう精進して参ります。



## 3. HONDA 応用講座 国際教養学部国際教養学科 3 年 荒井瑞穂

10月に開催されました、本田技研工業株式会社様の学生フォーミュラ応用講座に参加させて頂きました。どの講座も分かりやすく説明して頂き、非常に勉強になりました。

特に興味を持ったのが「ネジはなぜ弛む」という講座でした。普段ボルトを閉める時や緩みを確認する時は、あまり深く考えずに作業していました。しかし、この講座の中でボルトが閉められる原理や弛む原因を複数知ることができ、新しい発見がありました。

今回学んだことを実際の作業で最大限に活かしていきたいと思います。

#### 4. NATS 試走会 機械工学コース 1 年 黒澤 秀太

10 月 26 日、日本自動車大学校様(NATS)のテストコースにて試走会及び新人ドライバーの練習を行いました。新人ドライバー練習では私を含め 4 人の 1 年生のドライバーが CF23 のコックピットに乗り込みエンジン始動、発進、停止、変速などの基本的な操作を練習しました。初めてのレーシングカーの運転は緊張しましたが、市販車とは比べ物にならない暴力的な加速性能など、驚きと発見の連続でした。私はステアリングを握り、シフトレバーを気にしながらまっすぐ走っていくことだけで精一杯だったので先輩ドライバーの方々の運転技術の高さというものを改めて実感しました。実際に乗ることで見るだけではわからなかった、ドライバーならではの視点や、自分の目指す領域がはっきりしたため今回の経験をこれからの活動へ生かしていきたいと思います。



## 5. Aich Sky Expo 国際教養学部国際教養学科 3 年 荒井瑞穂

10月12日に、エコパに代わり来年の大会会場となるセントレアを訪問しました。ピットやトイレの環境の良さや水はけの良さ、砂利の無さなど良いところもあった一方、ピットからコースに出る時の段差、コースの傾斜など懸念点もいくつか見つかりました。特にピットにあったいくつかの小さな隙間は、部品を落としてしまうと取ることが難しそうだったため危惧しています。また、会場への大学からの距離はエコパよりも遠くなるため、その距離を体感することができました。

実際に自分の目で大会会場を見られたことで、来年の大会のイメージが湧きやすくなり貴重な経験となりました。この経験を活動に活かして参ります。





## 6. 千葉大学工学部祭 機械工学コース 2 年 青木勝輝

11月4日と5日の2日間に渡って千葉大学工学部祭が行われました。弊チームは工学部公認団体であるため、毎年工学部祭の実行委員を選出しています。今年は私が代表学生の1人となり、7月より企画実施計画やパンフレット作成、資料取りまとめを行いました。当日を迎えるまでの間に工学部学務との間で連携が上手く取れていなかったこともありましたが、他のメンバーの協力もあり無事に当日を迎えることができました。当日は上級生から下級生まで準備から片付けまでの多くをシフトに入ってもらい、人手不足になることなく展示、走行ともに多くの方に楽しんでいただけました。工学部祭は学外の一般の方に間近でマシンを見ていただき、私たちの活動の様子を伝える唯一無二の機会であるため、今回得られた経験や教訓を来年に繋げさらなる成功を目指していきたいと思っています。



## 7. 千葉日報合同取材 機械工学コース 2 年 鈴木達英

11 月 11 日、千葉大学フォーミュラプロジェクトのガレージにて Team TRS 様との合同取材が行われました。今回の取材はチームの新リーダーの 2 人と 1 年生 2 人の合計 4 人で参加させていただきました。私はこれまで取材を受けた経験が無く、普段から人前で発表することも無いのでとても緊張して満足のいく受け答えができませんでしたが、取材に来られた方が千葉大学出身であったことや、Team TRS 様の冨本様にメンターして頂けたため、言葉足らずの受け答えとなってしまうことが多々ありましたが無事に 11 月 20 日の朝刊の一面に掲載させて頂くこととなりました。

また、チームのリーダーとなり、初めて上級生がいない対外的活動であったため、学ぶことが多く、また自分自身の知識不足を痛感することにもなりました。

今回の取材により学生フォーミュラの存在をより多くの人に知ってもらえることが出来ました、今後も様々な活動を行いより多くの方にこの活動を認知、応援、支援していただけるようにまた、応援して下さる皆様の期待に応えられるよう精進して参ります。

## 8. 静的審査交流会 理学部化学科 2 年 大川晃

先日は 11 月 12 日に名古屋大学にて開催された静的審査交流会に参加してまいりました。私はデザイン審査の部屋に参加しましたが、各校多くのチームメンバーが参加しており、活気を感じました。今年度からテクニカルディレクターに就任した身としては、何も分からなかった昨年のようなことはせず、できるだけ多くのことを吸収して帰ろうと意気込んでいました。実際に他大学のマシンの設計プロセスやその評価方法に関する疑問を解消できた一方で、自分の理解が及ばないような高いレベルの話もいくつかあり、勉強不足を実感いたしました。また、静的審査交流会終了後には他大学と交流する機会もあり、設計や製作手法についてより細かく話を聞いたり意見を交換したりすることができました。色々と発見が多く、設計への意欲がわきました。当日得た知識を無駄にせず、設計から評価、そしてそのプロセスの発表まで見通した活動を行っていきたいと思いました。



## 9. 中村機材様、梶哲商店様見学    機械工学コース1年 伊藤克真

11月22日、治具板用の鋼板の受け取りと合わせて、千葉県浦安市の梶哲商店様、中村機材様の工場見学をさせていただきました。梶哲商店様は、多種多様な鋼板の販売、溶断加工、関連物流をされていて、工場の中には何メートルもある鋼板の切断に用いられる極めて大きな切断機があり、圧倒されました。中村機材様は、1メートルを超えるような超極厚の鋼板の溶断や、ガス溶断を用いた精密溶断を得意とされていて、工場には本当に溶断されたものなのかと疑うほどの非常に分厚い鋼板が重なっていたり、精密溶断で切り出された精巧なチーバくんが置いてあったりと、これにもひどく驚かされました。ありがたいことに、両社の方々には温かく接していただき、このチームは本当に多くの方々に支えられているのだと実感し、期待を裏切らないためにも来年度に向けてさらに頑張っていこうと決意しました。





## 10. Japan Mobility Show 2023 都市工学コース 1 年 中村陽平

本田技研工業株式会社様にご提供いただいたチケットで 10 月 26 日から 11 月 5 日に開催されていた Japan Mobility Show 2023 を見学してきました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で 4 年ぶりの開催でありましたが、沢山の次世代モビリティや各メーカーのコンセプトカーなどのブースが出展されており楽しむことが出来ました。学生フォーミュラの出展ブースもあり、京都工芸繊維大学と名古屋大学のマシンをくまなく見ることが出来ました。他大学のマシンをまじまじと見る機会のはめったにないのでとても良い機会になりました。





# CF24 Timeline vol.1

9,10,11 月

9/17 JARI カースワップ

9/26 NATS 試走会

10/3 YAMAHA 強度設計基礎講座

10/7,8 学生フォーミュラチャレンジ講座 応用講座

10/12 Aichi Sky Expo 見学会

10/14,15 学生フォーミュラチャレンジ講座 サスペンション設計講座

10/26 HONDA チーム育成研修会

10/28 もてぎ試走会

11/4,5 千葉大学工学部祭

11/11 千葉日報取材  
日産サポート講座

11/12 静的交流会  
日産サポート講座

11/18,19 日産サポート講座

11/22 株式会社中村機材様、株式会社梶哲商店様訪問

11/29 ヤマハ発動機株式会社様 報告会  
株式会社エイチワン様 報告会



## SPONSOR

私達、千葉大学フォーミュラプロジェクトの活動は以下の企業、団体様よりご協力いただいております。このような貴重な勉強の場を与えて下さいましたことに、心よりお礼申し上げます。

### 企業・団体スポンサー様

※敬称略（五十音順）

旭化成建材株式会社

株式会社デンソー

アンシス・ジャパン株式会社

株式会社東日製作所

池田金属工業株式会社

株式会社トヨタレンタリース千葉

HPC システムズ株式会社

株式会社中村機材

エヌ・エム・ビー販売株式会社

株式会社ノウム

エムエスアイコンピュータージャパン株式会社

株式会社ハイレックスコーポレーション

学校法人 日栄学園 日本自動車大学校

株式会社橋本屋

株式会社 APJ

株式会社深井製作所

株式会社 IDAJ

株式会社富士精密

株式会社アネブル

株式会社プロト

株式会社石川インキ

株式会社ミスミグループ本社

株式会社エッチ・ケー・エス

株式会社ユタカ技研

株式会社エイチワン

株式会社レゾニック・ジャパン

株式会社江沼チエン製作所

株式会社ロブテックス

株式会社梶哲商店

株式会社ワークスベル

株式会社キノクニエンタープライズ

株式会社和光ケミカル

株式会社ケイズデザインラボ

協和工業株式会社

株式会社日下製作所

京葉ベンド株式会社

株式会社佐々木工業

ZAN 株式会社

株式会社玉津浦木型製作所

住友電装株式会社

株式会社ティン

ソリッドワークス・ジャパン株式会社

千葉大学工学部

千葉大学 工学同窓会

千葉大学材料加工学研究室

千葉トヨペット株式会社

日本軽金属株式会社

日信工業株式会社

日本精工株式会社（NSK）

日本製紙クレシア株式会社

日本発条株式会社

日野自動車株式会社

マーレジャパン株式会社

マスワークス合同会社

まるたや

マレリ株式会社

ヤマハ発動機株式会社

合同会社葵不動産

有限会社斉藤プレス

有限会社プラスミュー

有限会社丸忠木型製作所

有限会社茂原ツインサーキット

## Special Thanks

千葉大学工学部実習工場

千葉大学工学部附属創造工学センター

Team TRS

ホンダマイスタークラブ

前澤友作スーパーカープロジェクト

レーシングガレージ ENOMOTO

## 個人スポンサー様

石塚 祐也      山岸 雅人

上野 涼      本宮 曜

江澤 成毅      米川 雄大

及川 智紀

岡田 和大

小川 和也

兼坂 洋祐

窪田 十也

戸塚 雅也



今後も定期的に私たちの活動の様子をお伝えして参ります。

CUFP 活動報告書 2024 年 vol.1

千葉大学フォーミュラプロジェクト

2024 年度プロジェクトマネージャー 鈴木達英

Mail: 22t0622z@student.gs.chiba-u.jp

URL : <https://chiba-formula.xrea.jp/>